

成果指標				
成果指標	実施箇所÷予定箇所×100			
指標設定の考え方	参画と協働の郷づくりの拠点整備を行う。			
区分年度	24年度	25年度	26年度	
目 標	100	100	100	0
実 績	100	100	0	0

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	3	C
		市民ニーズへの対応	3	
		市の関与の妥当性	3	
	有効性	事業の効果	3	C
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	3	C
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	集会所は地域住民の活動拠点であり、その整備をすることにより一層の住民活動が期待できるものである。市内の集会所は老朽化等により改修等を必要とするものがまだまだ残っているため、トイレ洋式化やエアコンの設置などの機能向上、老朽化による機能低下に対する改修等を今後も継続していく必要がある。			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	3	C
		市民ニーズへの対応	3	
		市の関与の妥当性	3	
	有効性	事業の効果	3	C
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	3	C
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	老朽化等により集会所の改修等を必要とする地域が多く存在しており、地域の自治活動の拠点となるものであることから、今後とも整備を継続していく必要があるが、耐震への対応について検討が必要になってくるものと思われる。			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	一次評価結果のとおり事業継続と判断する。
意見、課題	

行政評価委員会の答申

外部評価
(行政評価委員会)

経営者会議の最終判断

事業の方向性

現状のまま継続する。

意見、課題